

3 産業別生産額

生産額を産業別に平成 17 年と比較すると、第 1 次、第 2 次産業では減少し、第 3 次産業で増加した。

生産額の産業別の構成比は、製造業が 40.4%を占め、全国の製造業の構成比 30.9%に比べ 9.5 ポイント上回っている。

平成 23 年の生産額を平成 17 年と比較すると、第 1 次産業は 6.4%減、第 2 次産業は 3.9%減となったが、第 3 次産業は 9.3%増加した。

最も増加率の高い第 3 次産業では、金融・保険が 19.1%減となったものの、不動産が 39.5%増、情報通信が 30.8%増、電力・ガス・水道が 11.3%増、サービス業が 10.3%増などとなったことから、全体では 9.3%増となっている。

製造業の構成比は近年低下傾向にあるものの、平成 23 年では 40.4%であり（平成 17 年 43.2%）、全国の製造業の構成比 30.9%に比べると 9.5 ポイント上回っており、県内産業の主力であることに変わりはない。

産 業

産業連関表でいう産業は、財・サービスの個々の生産活動を意味しており、同一事業所で 2 つ以上の品目を生産している場合、それぞれ区分して該当する産業部門に分類する。したがって、企業あるいは事業所をベースとして分類されている通常の産業とはその概念を異にする。

表1 生産額の産業別の構成と伸び

	富山県					全国			
	県内生産額(百万円)		構成比(%)		伸び率(%)	国内生産額(10億円)		構成比(%)	
	平成17年	平成23年	17年	23年	17~23	平成17年	平成23年	17年	23年
01 農林水産業	109,068	102,091	1.2	1.1	-6.4	13,155	12,036	1.4	1.3
02 鉱業	22,488	25,687	0.3	0.3	14.2	1,008	760	0.1	0.1
03 製造業	3,852,031	3,686,943	43.2	40.4	-4.3	307,071	289,905	31.6	30.9
04 建設	605,740	592,745	6.8	6.5	-2.1	63,237	52,514	6.5	5.6
05 電力・ガス・水道	296,493	329,938	3.3	3.6	11.3	23,236	25,755	2.4	2.7
06 商業	687,740	667,814	7.7	7.3	-2.9	106,275	93,656	10.9	10.0
07 金融・保険	327,862	265,214	3.7	2.9	-19.1	41,587	32,094	4.3	3.4
08 不動産	636,265	887,837	7.1	9.7	39.5	66,206	71,188	6.8	7.6
09 運輸・郵便	307,686	333,800	3.5	3.7	8.5	52,648	48,234	5.4	5.1
10 情報通信	158,457	207,268	1.8	2.3	30.8	43,953	46,160	4.5	4.9
11 公務	334,929	303,086	3.8	3.3	-9.5	38,538	39,405	4.0	4.2
12 サービス	1,520,476	1,677,024	17.1	18.4	10.3	211,133	222,958	21.7	23.7
13 分類不明	47,689	46,239	0.5	0.5	-3.0	3,968	5,010	0.4	0.5
産業計	8,906,924	9,125,686	100.0	100.0	2.5	972,015	939,675	100.0	100.0
(再掲) 第1次産業	109,068	102,091	1.2	1.1	-6.4	13,155	12,036	1.4	1.3
第2次産業	4,480,259	4,305,375	50.3	47.2	-3.9	371,317	343,179	38.2	36.5
第3次産業	4,317,597	4,718,220	48.5	51.7	9.3	587,544	584,460	60.4	62.2

13部門表の区分

第1次産業：01

第2次産業：02~04

第3次産業：05~13

図1 生産額の産業別構成比

